

急速埋設継手工法（計画から施工までのあらまし）

WSP 070-2004

WSP Q2 形の取扱いについて

急速埋設継手工法（計画から施工までのあらまし）WSP 070-2004 については、WSP Q1 形と WSP Q2 形の 2 種類の継手工法を規定しておりましたが、このうち WSP Q2 形の取扱いを下記のとおりとします。

WSP Q2 形についての記載は、ゴム系水道用ジョイントコートが製造中止となった為、参考として、以下の取扱いとする。

今後の取扱い：

WSP Q2 形を使用する場合は、受渡し当事者間の個別協議とする。

なお、ゴム系外面防食材料の構成、品質、施工手順は原則 JWWA K 153 : 2014（水道用ジョイントコート）の附属書 C（参考）に基づくこととする。